

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	14	議員名	佐藤和彦	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	9月10日
質問項目		質問要旨					
1	松江市の災害対応について	(1) 「防災井戸」の有用性と整備手順について 災害時に、地下水を代替水源として利用するためには、平常時から地下水の実態を把握しておく必要がある。令和8年2月定例会において、災害時地下水利用ガイドラインについて伺い、本市でも、防災井戸の登録制度について検討を始めたところである。また、市内の井戸の箇所を把握した上で、中山間地や孤立予想集落などから、防災井戸の活用法について検討を進めると答弁いただいた。以下3点伺う。 ア その後の検討内容および、防災井戸の必要性についての見解を伺う。 イ 防災井戸登録指定の運用面における課題について伺う。 ウ 「実態把握調査」を先に行うべきと考えるが見解を伺う。 (2) 非常用電源の確保について 熊本地震のような大規模災害では広範囲で停電が発生し、電力の復旧までに数日を要したところもあった。そうした災害から、非常用電源の確保は重要な防災対策となっている。以下4点伺う。 ア 現在、指定避難所および、福祉避難所において、停電時の非常用電源設備や装備品の種類、件数、用途を伺う。 イ 現在、指定避難所および、福祉避難所において、停電時の非常用電源設備でエアコン（空調設備）に対応は可能か伺う。 ウ 災害バルク（LPガス）を利用した発電設備が備わっている指定避難所および福祉避難所はどこか、また、空調設備に対応している避難所はどこか伺う。 エ 災害バルクとボンベ（シリンダー）の設備での違いを伺う。 オ 松江市と災害時応援防災協定を結ばれている松江バイオマス発電㈱との災害時の運用方法はどのようなになっているか伺う。					
2	横断歩道等の緊急処置および今後の計画について	(1) 令和8年2月定例会において、誠政松江の会派代表質問の中および私自身も質問を行った。その時の市長答弁では、「2月24日の県議会の一般質問におきまして、県警本部長が横断歩道の緊急点検を進め、通学路などの安全対策に重点を置き、劣化が進んだ道路標示に迅速に対応する旨の答弁がされ、一時的な緊急対応をなされたと同った。本市としても、国、県、警察、事業者と連携し、道路の適切な維持管理がなされ、市民の皆様が安心して安全に道路を利用していただけるよう全力で取り組んでいく。」と答弁があった。昨年、松江市町内会・自治会連合会から松江市に対しての要望書において、適切な維持、管理の実施を要望された。その回答として、「各道路管理者と島根県警察本部との間で円滑な情報共有を目的とする調整会議が新設され、効率的な維持管理や早期修繕の連携を図る」とされた。また、「交通安全に直結する横断歩道について本市として、表示が消えかかっている状態で放置されることのないよう取り組みを強化する」とも回答された。以下2点伺う。 ア 具体的にはどのように連携されているか伺う。					

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	14	議員名	佐藤和彦	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	9月10日
質問項目		質問要旨					
3	道路愛護団以外の生活道路の草刈りについて	イ どのように取り組みを強化されたのか具体的に伺う。 (1) 現在、各地域において道路愛護団や河川愛護団など地域の方々とボランティア組織を立ち上げ、生活道路等の整備等を実施いただいている。現状の課題に対し以下4点伺う。 ア 道路愛護団の設立の条件、および、補助金制度と申請時の提出物は何か伺う。 イ 道路管理の中の草刈りにおいて道路愛護団が請け負っていない道路、すなわち松江市が草刈り等の管理をする道路の中で、毎年事業者委託されている路線はどの程度あるのか、また、その他地域から要望があってから対応する道路はどの程度あるか伺う。 ウ 事業者委託される路線は何を基準に決定されているか伺う。また、要望に対しての実施基準は何か伺う。 エ 地域から「草を刈ってほしい」との要望は毎年何件程度あり、どの程度対応できているか、課題と対策について伺う。					
4	運動公園や学校の校庭などの芝生の管理について	(1) この夏の水不足で運動公園や学校の校庭など芝生の管理が大変であったと思う。そこで2点伺う。 ア 学校の芝生、松江市内の運動場（松江総合運動公園など）の芝生、その他公園の芝生の管理状態について、特に水やりの方法など管理者や管理費なども含めそれぞれの状況を伺う。 イ 校庭、スポーツ施設、公園などそれぞれ、管理形態が違うが、水不足等にもしっかりと対応できるよう予算化も含め検討いただきたいが、見解を伺う。					

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	15	議員名	佐々田慎吾	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	9月10日
質問項目		質問要旨					
1	障がいのある方の参画と環境整備について	(1) 障がいのある方へ市からお知らせや連絡をする際に、障がいの特性に応じ、どのような配慮を講じているのか。また、その対象となる方を市はどのように把握しているのか伺う。 (2) 「おまっちょお買物券」について、障がいのある方が情報を受け取り、円滑に利用できるよう、どのような配慮を行ったのか伺う。 (3) 「おまっちょお買物券」事業を実施する中で、障がいのある方から利用に関する相談や意見は寄せられたのか。また、それらを通じて、今後の市民向け事業に生かすべき課題をどのように認識しているのか伺う。 (4) 松江市内の道路や市の施設における点字ブロックについて、設置や維持管理、改善等を含め、現在どのような基準や考え方に基づいて整備しているのか伺う。 既存の点字ブロックについて、こうした状況を確認し、必要に応じて改善していく仕組みはあるか。また、必要な当事者や自治会の交通安全施設要望から、点字ブロックに関する要望や意見を聞く仕組みはあるのか伺う。 (5) 自動運転バス実証事業の試乗会において、障がいのある方や高齢者、日常的に通勤・通院・通所などで公共交通を利用している方など、実際の利用者が参加しやすいよう、参加枠を設けるなど、試乗会への参加方法を工夫する考えはないか伺う。					
2	中学生議会について	(1) 第1回中学生議会を終えて、市長はどのように受け止め、どのような成果があったと考えているのか。また、今回、参加した中学生の声や提案を、今後の市政にどのように生かしていくのか。 (2) 今後の中学生議会において、より多くの、多様な中学生が参加し、それぞれの立場から意見を届けることについて、市長の考えを伺う。					
3	パブリック・コメント制度について	(1) 松江市全体として、意見の件数だけではなく、その内容や多様性なども含め、パブリック・コメント制度そのものについて評価・検証する仕組みはあるのか伺う。 (2) より幅広い市民や関係する当事者から意見を聴き、その声を政策形成に反映するため、今後、パブリック・コメントの周知や情報提供、意見提出の方法をどのように工夫していくのか伺う。					

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	16	議員名	長谷川浩司	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	9月10日
質問項目		質問要旨					
1	空き家対策について	(1) 人口減少、高齢化、社会ニーズの変化とともに、危険な空き家の増加は社会問題となっている。令和5年12月に「空家等対策の推進に関する特別措置法」の改正により、特定空家になる恐れのある空き家に対して、自治体が指導や勧告を行うことができる「管理不全空家」の新設がなされた。本市では、令和4年度から5年間の「第2次空家等対策計画」が最終年度を迎えており、今年度に次期計画となる「第3次空家等対策計画」のための見直しを進めている。そこで3点伺う。 ア 特定空家とは、放置すれば倒壊の危険がある、衛生上有害になる、または景観を著しく損なうなど、周辺へ悪影響を及ぼす空き家のことであるが、この危険な空き家「特定空家」は市内にどの程度あるのか、その推移・現状や対応について伺う。 イ 新設された「管理不全空家」とはどのようなものか、その判断基準について伺う。 ウ 各自治会や町内会でも空き家は美観の観点だけではなく災害時における倒壊や道路の遮断等の不安要因になっている。また、空き巣の侵入、放火、不法占拠、特殊詐欺の荷物の宛先などの犯罪に悪用されやすいリスクもある。「第3次空家等対策計画」策定にあたり、各自治会や町内会の不安や心配を踏まえ、どのような視点で見直し、どのような対策に取り組むのか伺う。					
2	広域アクセスの向上について	(1) 地域活性化、観光振興のためには新幹線など都市間のアクセス向上が不可欠である。本年1月には全国11の新幹線基本計画路線を有する団体が集結して「新幹線基本計画路線全国総決起大会」が開催された。国土交通省は、2026年度に新たに実施する「基本計画路線に係るケーススタディ」の対象として、東九州新幹線と四国の新幹線を選定した。基本計画路線について国が主体となって具体的に調査するのは初めてである。そこで3点伺う。 ア 山陰新幹線、中国横断新幹線（伯備新幹線）の整備計画路線への格上げに向けた要望活動や、各団体との連携強化などの取り組み状況を伺う。 イ 国が行う「基本計画路線に係るケーススタディ」の対象として、東九州新幹線や四国の新幹線が選定されたことへの市長の所見を伺う。 ウ 今後の活動への意気込みを伺う。					
3	ミライソウゾウ会議について	(1) 本市においては、総合計画「MATSUE DREAMS 2030」の策定を契機として、「ミライソウゾウ会議」を実施し若者からさまざまな意見や提案を聴取するとともに、単に意見を聞く場にとどまらず世代を超えたつながりづくりやまちづくりに積極的に関わるための機会として取り組まれていると承知している。これまでの取り組みを通じて実際に参加者がまちづくりの担い手として活躍する事例も生まれていると聞いている。若者の自由で柔軟な発想を一過性の取り組みで終わらせることなく、今後の市政や地域づくりに反映していくことが重要と考える。そこで3点伺う。 ア 本市がこれまで実施してきた「ミライソウゾウ会議」について、この事業を実施するに至った背景や目的について改めて伺う。					

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	16	議員名	長谷川浩司	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	9月10日
質問項目		質問要旨					
4	令和8年度の宿泊税活用事業の状況について	イ これまでの参加状況、及び具体的な成果について伺う。 ウ 今後「ミライソウゾウ会議」をどのように発展させていくのか伺う。 (1) 本市は、昨年12月から宿泊税を導入し今年度からは通年で宿泊税を活用した事業を展開している。観光客の受け入れ環境やサービスの向上につなげ、宿泊客の増加につなげていかなければならない。松江観光協会では、本年6月30日に最高執行責任者（COO）の藤岡氏が専務理事に就任され、本市観光の司令塔としての役割を果たすべく先頭に立って活躍されることを期待している。そのような状況にあって次の2点について伺う。 ア 令和8年度の宿泊税活用事業の具体的な内容と進捗状況について伺う。 イ 令和8年度の宿泊者数、および宿泊税の徴収額の見込みについて伺う。					
5	インバウンドについて	(1) 「インバウンド（訪日外国人）」を増やす目的は、人口減少で国内の消費が減る中、外国人が日本で「宿泊」、「食事」、「買い物」をすることで、新たな消費が生まれ観光関連産業の売り上げが直接的に伸びるとともに、観光需要が増えることで雇用が生まれ、女性や若者の雇用につなげることで雇用の場の創設、あるいは拡充に資することを期待するものであるが、令和7年の本市における外国人宿泊者数は約8万2千人となり過去最高を記録した。一方「MATSUE観光戦略プラン」で2030年の目標値として掲げる外国人宿泊者数15万人に対する達成率は約55%にとどまっている。そこで、目標達成に向けた考えについて伺う。					

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	17	議員名	中村ひかり	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	9月10日
質問項目		質問要旨					
1	異常な暑さから子どもを守る取り組みについて		(1) 今年度、異常な暑さを理由として、影響を受けた活動をどの程度把握しているか伺う。 (2) 松江市立学校の体育館について空調設備の整備予定をお示しいただきたい。併せて、現在の整備計画を前倒し、学校体育館への空調設備整備を早急に進める考えはないか伺う。 (3) 異常な暑さから子どもたちを守るため、松江市として、今後どのように取り組んでいくのか教育長の決意を伺う。				
2	学校現場を取り巻く環境について		(1) 学校を支える人材の増加と施設環境について ア どのように認識しているのか。また、その変化を学校施設の整備や管理にどのように反映しているのか伺う。 イ 教職員等の駐車場不足について、教育委員会は実態を把握しているのか伺う。 ウ 教職員から駐車料金を徴収する現在の制度について、その使用料は学校の駐車場の維持管理や整備に充てられているのか伺う。また、学校現場の変化を踏まえ、駐車環境と駐車料金のあり方について今後検討する考えがあるのか伺う。 (2) 学習用端末の更新に伴う課題について ア 更新以降、端末の破損や故障の報告状況についてどのように捉えているか伺う。 イ 破損や故障の原因を分析し、その結果を端末の運用や、将来の機種選定にも反映していくべきと考えるが、教育委員会の見解を伺う。 ウ 市立小中学校に充電保管庫が何台設置されているのか。また、端末更新後、それらが実際にどの程度利用されているのか、教育委員会は利用状況を把握しているのか伺う。 エ 充電保管庫について、国の補助制度による財産処分上の制約はいつまで続くのか。また、その制約がなくなった後、市としてどのように整理していく考えか伺う。				
3	子の看護等休暇の拡充について		(1) 対象となる子が増えても休暇日数に上限がある現在の制度について、多子世帯における仕事と子育ての両立という観点から、どのように認識しているのか伺う。 (2) 松江市においても子の看護等休暇を拡充する考えはないか伺う。 (3) 県費負担教職員の子の看護等休暇を拡充するよう、島根県教育委員会等へ働きかける考えはないか伺う。				

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	17	議員名	中村ひかり	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	9月10日
質問項目		質問要旨					
4	木育の推進について	(1) 既存の屋内遊び場に木育の視点を取り入れ、県産材・地域材を活用した遊具やおもちゃ、木工体験など、地域資源を生かした取組を提供することについて、市の見解を伺う。 (2) 「松江ならではの子育て支援拠点」を目指していくことについて、市長の考えを伺う。					

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	18	議員名	舟木一真	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	9月10日
質問項目		質問要旨					
1	人口減少社会における松江市のスマートシュリンク（賢く縮む）について	(1) 地方の人口減少が加速する中、松江市として、スマートシュリンク（賢く縮む）という考え方をどのように捉え、今後のまちづくりにおいてどのように考えているのか、所見を伺う。 (2) 現在、松江市において、スマートシュリンク（賢く縮む）につながる取り組みがあるのか。あるとすれば、その具体的な内容と現在の取り組み状況について伺う。 (3) 今後、松江市として、スマートシュリンク（賢く縮む）を一つの軸として、人口減少を前提とした行政サービスや公共施設のあり方、行政運営の効率化などに取り組んでいく考えがあるのか、伺う。また、今後さらに人口減少や労働力不足が進むことを見据え、近隣の基礎自治体や島根県・鳥取県などの広域自治体との連携を強化し、行政サービスや公共施設等の広域化・共同化を進めていく考えがあるか、併せて伺う。					

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	19	議員名	わたなべ良平	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	9月10日
		質問項目	質問要旨				
1		日常生活用具の給付について	(1) 昨年の9月議会の一般質問において、紙おむつ等給付の対象の拡大を提案したところ、「他市における先進的な取組の状況などについて聞き取り等で調査を行った上で対応を検討する」と回答であった。 ア 聞き取り等調査の結果を伺う。 イ 調査から予想される松江市での支給該当者の人数と年間の給付総額を伺う。また令和7年度の本市の紙おむつ等給付の支給決定人数と給付額の実績を伺う。 ウ 紙おむつ等の給付対象を身体障がい者に限定せず、医師の判断による書面等を条件として、知的障がい者等を含めた者に拡大するべきだと思うが、見解を伺う。				
2		エコクリーン松江のごみ処理量について	(1) エコクリーン松江は市民生活に必要な不可欠な施設であるとともに、15年の長期包括的運営業務委託事業費も251億円に上るなど、大変コストの高い施設でもある。 ア 長期包括運営業務委託契約の上限処理量は年間何トンか伺う。 イ 近年の実績処理量の推移を伺う。 ウ 他自治体のごみを受け入れることは可能か伺う。				
3		こども支援について	(1) 松江市のこどもの虐待、不登校、いじめ、自死について過去3年間の推移を伺う。またそれらのデータにおいて松江市に特徴的なものがあれば伺う。 (2) こどもアドボカシーについて、松江市ではどのような取り組みをしているのか伺う。また課題があれば伺う。 (3) こどもアドボカシーに関して、松江市の今後の取り組みについて伺う。				

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	20	議員名	吉岡麻美	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	9月10日
質問項目		質問要旨					
1	若者や子育て世代の視点を活かした宍道湖周辺の新たな魅力拠点づくりについて			(1) 中学生議会の提言を活かした「SNS映えするフォトスポット」について、市内の中学校からデザインやアイデアを公募し形にしてはどうかと考えるが、見解を伺う。 (2) 宍道湖の夕日が見えるロケーションに、トランポリン型遊具「ふわふわドーム」を設置し、誰もが憩い癒される拠点にしてはどうかと考えるが、見解を伺う。			
2	外国人介護人材の定着促進と生活面の受け入れ体制整備について			(1) 外国人介護人材の生活支援や定着に向け、本市として現在どのような取り組みを行っているか伺う。また移動手段の確保など、生活面での負担軽減に向け、今後支援を行っていく予定や考えがあるか、伺う。			
3	福祉タクシーおよび高齢者移送タクシー事業の利便性向上と見直しについて			(1) 令和7年度における福祉タクシー事業について、実際に交付されたタクシーチケットの枚数に対し、どれくらい利用されたのか、利用率は何パーセントであったか伺う。 (2) 福祉タクシーの他自治体における自由枠の運用方法について、本市としてどのように把握しているか伺う。また、利用目的の制限を撤廃し、年間72枚の枠の中で買い出しや外出に自由に使えるよう見直すべきと考えるが、見解を伺う。 (3) 物価高の中でも当事者の方々が負担感なく必要な移動を行えるよう、利用枚数制限の緩和や助成単価の見直しなど、制度の改善を図るべきと考えるが、本市の見解を伺う。 (4) 高齢者移送タクシー事業における対象者の条件について伺う。また、令和7年度において、実際に交付されたタクシーチケットの枚数に対し、どれくらい利用されたのか、利用率は何パーセントであったか伺う。 (5) 乗り場までの移動すら難しい高齢者の方々に対し、高齢者移送タクシーの対象条件を緩和し、必要な方にしっかりと届く制度へと見直してはどうかと考えるが、本市の見解を伺う。			

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	21	議員名	樋野伸一	(個人質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月10日
質問項目		質問要旨					
1	島根原発と地震・複合災害への備えについて	(1) 備蓄と避難所環境について ア 被災者の命と健康を守り、災害関連死を防ぐためにも備蓄の充実には欠かれません。食料、飲料水、毛布、簡易ベッド、簡易トイレ、電源、衛生用品などについて、長期避難生活に耐えうる備蓄となっているのか、また高齢者、障害者、要介護者などに配慮した避難所環境と、医療・介護体制について充実が求められています。備蓄、避難所環境を検証し充実強化を求めます。所見を伺います。 (2) 宍道断層周辺の土砂災害対策について ア 宍道断層の真上ならびに近傍に存在する危険箇所について、県と市が連携し、地震による被害も想定した計画的な整備を早急に進めるべきです。市の所見を伺います。 (3) 住宅の耐震化について ア 松江市の住宅耐震化の現状をどのように評価していますか。また、耐震化率をさらに引き上げるため、耐震診断、耐震改修への補助制度を拡充し、とりわけ高齢者世帯や低所得世帯が利用しやすい制度にすべきですが、所見を伺います。 (4) 土木・建築技術職員の確保について ア 現在、松江市の土木、建築関連の技術職員は、それぞれ何人配置されているのか。必要な職員数をどのように算出しているのか。また、今後、技術職員を増やしていくのか所見を伺います。					
2	高齢者の暮らしと社会保障について	(1) 年金について ア 松江市として、年金生活者の生活実態を把握するとともに、物価高騰に見合った年金の引き上げ、マクロ経済スライドの撤廃を国に求めるべきと考えますが、所見を伺います。 (2) 高齢者の医療費負担について ア これ以上、高齢者の医療費負担増を行わないよう国に求めるとともに、高齢者医療への国庫負担を増やすよう国に要請すべきです。所見を伺います。 (3) 医療機関への支援について ア 市内医療機関の経営状況、人材不足、診療科や病床への影響を、市は把握しているのか伺います。また、国に対して診療報酬の抜本的引き上げと医療機関への財政支援を求めるとともに、市としても地域医療を守るための支援を検討すべきですが、所見を伺います。					

一般質問通告事項

令和8年9月2日
第3回松江市議会定例会

順序	21	議員名	樋野伸一	(個人質問)	(一括方式)	質問日(予定)	9月10日
質問項目		質問要旨					
3	エッセンシャル ワーカー、ケア労働 者の確保について	(4) 介護保険の国庫負担について ア 松江市として、県と連携し、訪問介護の基本報酬の復元、介護報酬引き上げ、介護保険の国庫負担増額を国に強く求めるべきです。所見を伺います。 (5) 高齢者の住宅確保について ア 高齢世帯の公営住宅入居希望世帯数と実際入居出来た世帯数をお示してください。 (1) ケア労働者の実態把握について ア 松江市内の介護、障害福祉、保育、などのケア労働者について、賃金水準、離職状況、人員不足の実態を、市としてどのように把握しているのか伺います。 (2) 市独自の支援について ア 国の処遇改善策だけでは十分でない現状を踏まえ、市独自に事業所への財政支援や職員の処遇改善など行うことを求めます。所見を伺います。 (3) 国への要請について ア 介護報酬、障害福祉報酬、保育の公定価格など、ケア労働者の賃金を左右する仕組みは国が決めています。 市として国に対しこれらの引き上げを求めるべきです。所見を伺います。					